

戦評用紙

大会名: 高松宮記念杯 第49回 全日本実業団ハッパル選手権大会

対戦チーム 湧永製薬 対 大同特殊鋼

会場 沖縄県美里町小島公園 平成 20 年 9 月 2 日

戦評 前半 湧永製薬のアローで試合開始、  
 前半1分すぎに大同⑨ 武田のシュートで暫失制するが、湧永は、  
 ⑭ 古家 ⑳ 東長濱のシュートなどでリードを奪う。  
 ⑪ 東や⑬ 新のサイドや速攻で得点を重ねる湧永に対し、  
 大同は⑮ 山城や⑯ 富田らのシュートで点を取る。  
 27分すぎに⑥ 富田のシュートで逆転に成功するが、  
 湧永も⑥ 山中のシュートで同点とし、前半は16対16で  
 終了する。  
 後半は、1分すぎに湧永⑫ 富田のシュート、大同④ 松本のシュ  
 ードで点を奪い合うが、湧永が⑳ 東長濱のシュートでリードを奪うと、  
 ⑳ 東長濱のステップキックや⑬ 新のシュートで得点を重ねていく。  
 一方、大同も⑥ 富田のシュート、㉒ 渡久川 ⑨ 武田のシュートで、  
 湧永を追いかける。  
 25分すぎに④ 未松のシュートで同点に追いつくが、湧永  
 ⑪ 東のシュートで湧永がリードを奪う。  
 29分すぎに⑨ 武田のカンガで大同が同点に追いつく。  
 5分残り30秒で湧永はタイムアウトを取る。  
 終了間際、湧永⑰ 藤古家のフリーシュートからのシュートで  
 決まり、湧永が劇的な勝利を飾った。